

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 8 年 8 月 1 7 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門長 廣瀬 太郎

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 東シナ海～九州周辺海域で採集された動物プランクトン試料の分析業務一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和 9 年 3 月 1 2 日
- (4) 納入場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）を、その入札者（事業者）の消費税及び地方消費税に係る課税事業者希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成 13 年 4 月 1 日付け 13 水研第 65 号）第 12 条第 1 項及び第 13 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 7・8・9 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等」の業種「調査・研究」又は「その他」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている者は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 32 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務を履行しうる知識、技術を有することを証明した者であること。
- (6) 仕様書を踏まえた実施体制を整備すると共に、業務責任者（分析結果における全責任を負う者）を有していることを証明した者であること。

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

① 直接交付

長崎県長崎市多良町 1 5 5 1 - 8
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所管理部門管理課
電話 0 9 5 - 8 6 0 - 1 6 2 6
F A X 0 9 5 - 8 5 0 - 7 7 6 7

② 郵送による交付

封書に「東シナ海～九州周辺海域で採集された動物プランクトン試料の分析業務入札説明書希望」と記入し、返信用封筒（角 2）に 3 2 0 円切手を貼付し、上記①の封書に「東シナ海～九州周辺海域で採集された動物プランクトン試料の分析業務入札説明書希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①にて F A X 送信すること。

③ メールによる交付

任意書式に「東シナ海～九州周辺海域で採集された動物プランクトン試料の分析業務入札説明書希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①にて F A X 送信すること。

- ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
- ④ 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

（３）当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

（４）公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

（５）その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認ください。所
要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締
結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。
なお、応札若しくは応募又は契約の締結をまとめて同意されたものとみなさせていただきます
ますので、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文科省決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出しただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業務仕様書

1. 件 名 東シナ海～九州周辺海域で採集された動物プランクトン試料の分析業務
2. 業務目的 東シナ海陸棚域から黒潮域における浮魚類の餌料環境を把握するため、動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。
3. 検 体 数 209 検体
網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネット鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料を 1 検体とする。試料は契約後 2 週間以内に送付する。
4. 成 果 物 長崎県長崎市多以良町 1551-8
納入場所 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所
5. 履行期限 令和 9 年 3 月 12 日
6. 業務内容 当所から送付する試料について、以下のとおり作業を行うこと。

① 試料の分割処理

まず、各試料からゴミを取り除き、大型プランクトン(注)を選別する。ゴミの除去と大型プランクトンの選別を終えた試料は、分割器を用いて 1/2 に分割する。分割した試料はそれぞれ 1/2A 試料、1/2B 試料とする。

(注)大型プランクトンの定義：体長 3cm 以上を目安とし、分類群としてはクラゲ類・ヒカリボヤ・サルパ・その他大型甲殻類等を含む。ヤムシ類・オキアミ類は大型プランクトンの対象としない。

② 沈殿量と湿重量の測定

1/2B 試料を沈殿管等に移し、一日静置した後に、その容量を 1ml の精度で測定する。沈殿量の測定後、試料から海水をできる限り除去し、湿重量を 0.1mg の精度で測定する。

③ 分類群の同定と個体数の計数

大型プランクトン及び 1/2A 試料について、動物プランクトン分類群の同定と個体数の計数を行う。同定の基準はア)～サ)に示す分類群とするが、種の判別が容易なものは可能な限り種レベルの同定結果も示すこと。1/2A 試料は顕微鏡による観察のため、更に分割しても良い。ただし、分割の程度は、カイアシ類コペポデイド期を 200 個体以上計数できる範囲とする。これら 1/2A 試料の分割試料及び濃縮した採水試料を検鏡用試料とする。同定作業は「日本産海洋プランクトン検索図説」を基本に、Web Site “World Register of Marine Species” を参考にしながら、最新の情報を取り入れて行う。根拠とした文献・情報は分析結果表に付記すること。分析作業は黒潮域の動物プランクトン(特にカイアシ類)に精通した者が行うこと。

ア) カイアシ類：成体については世界中の海産浮遊性カイアシ類に関する Web Site “Marine Planktonic Copepod” を参照し、これにリストアップされている種は全て同

定し個体数を計数する(参考として別紙 1「東シナ海におけるカイアシ類出現種リスト」を添付する)。計数の際には成体雌・成体雄を分けて記録する。*Calanus* 属については未成体のコペポデイト期も種同定を行い、各ステージの個体数を計数する。その他のコペポデイト期については属レベルまでの同定を基準とするが、可能な限り種レベルで同定を行い各ステージの個体数を計数する。ノープリウス幼生は目から科レベルで可能な限り同定する(*Calanus* 属について、種の同定が可能なノープリウス幼生が出現した場合は、種レベルで計数する)。

- イ) クラゲ類(刺胞動物・有櫛動物)： 綱レベルの同定・計数を行う。
- ウ) 腹足類： 科レベルの同定・計数を行う。
- エ) 多毛類(浮游性)： 綱レベル(Polychaeta)の同定・計数を行う。
- オ) 枝角類： 種レベルの同定・計数を行う。
- カ) 介形類： 綱レベル(Ostracoda)の同定・計数を行う。
- キ) 軟甲類： 以下の基準とする。
 - オキアミ類： 成体・未成体は種レベルの同定・計数を行う。幼生はノープリウス、メタノープリウス、カリプトピス、フルシリアの各発育ステージに分けて計数する(幼生について分類情報のある種は、可能な場合、種レベルで同定・計数する)。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。
 - 十脚類： 科レベルの同定・計数を行う。
 - 端脚類： 亜目レベル(Hyperiidea、Gammaridea)の同定・計数を行う。
 - その他： 可能な限り種レベルで、目レベルまでの同定・計数を行う。
- ク) ヤムシ類： 種レベルの同定・計数を行う。
- ケ) タリア類： 以下の基準とする。
 - ヒカリボヤ： 群体について種レベルの同定・計数を行う。
 - サルパ： 単独個体と連鎖個体を分け、種レベルの同定・計数を行う。
 - ウミタル： 属レベル以上の同定・計数を行う。ナース世代は纏めて良い。
- コ) 昆虫類： 種レベルの同定・計数を行う。サンプルの保存状態が悪い場合でも可能な限り科レベルで同定する。
- サ) 一時性プランクトン(魚卵・稚仔魚含む)： フジツボ幼生(キプリス・ノープリウス)及びカタクチイワシ卵は確実に同定する。その他は請負業者における最終責任者(または分析担当者)が知識を持つ範囲で可能な限り計数・同定する。

なお、大型プランクトンについては、同定と計数の後に湿重量を測定した後、別途スクリー管瓶等に保管する。大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*)の若齢個体が出現した場合は傘径の測定も実施し、別途スクリー管等に保管する。

④ 体長測定

検鏡用試料で同定・計数した動物プランクトンについては、体長・体幅など重量換算に必要な指標部位の測定を行う。測定値からの重量(湿重量、乾燥重量、炭素重量)換算式も示すこと。測定部位については、「沿岸環境調査マニュアル(日本海洋学会編、恒星社厚生閣)」「地球環境調査計測事典 第3巻 沿岸域編(竹内均監修)」などを参照し、決定する。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。

⑤ 成果品提出

以下の情報を別紙 2、別紙 3 を参考にして Microsoft Excel シートか、カンマ区切りテキ

ストファイルに纏め、分析結果表として担当職員宛に電子メールで提出する。Microsoft Excel シートの場合は全試料のデータをア)～オ) 毎に 1 シートに纏めること。

ア) 実計数値・分割率

イ) 採集当たり個体数(個体数/試料)。

採集当たり個体数については、検鏡用試料と大型プランクトンの個体数を合計し、カイアシ類については目名・科名も付記する。

ウ) 指標部位計測値

エ) 湿重量・沈殿量値

オ) 大型プランクトンに関する情報(クラゲ類傘径・湿重量など)

カ) 分析担当者名

7. 分析終了後の試料処理

分析後の試料は以下の要領で処理すること(1/2A、1/2B 試料の保管方法の詳細については別紙 4 を参照)。

- ① 1/2B 試料: 内蓋付の 50 ml ガラス製瓶に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「ネット種類」「採集層」と、「1/2 - B」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ② 1/2A 試料(未検鏡分): 内蓋付の 50 ml ガラス製瓶に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「ネット種類」「採集層」と、元の試料に対する分割率、「A」の文字を記入する。(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ③ 検鏡用試料: 10 ml スクリュー管に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に試料全体に対する分割率と、「A」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ④ 大型プランクトン試料: 適切なサイズのスクリュー管に入れ、容器内は 5%ホルマリンで満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「採集層」「内容物名(「クラゲ」「サルパ」「ヒカリボヤ」など)」を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。

8. 試料返却

7. で処理した①、②は標準のコンテナ(例:三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に 58 本ずつ収納すること。また標準サンプル瓶蓋の一番上のラベルに 1～58 までの通し番号を記入すること。ただし複数本に分けたサンプルについては全て同じ番号を記入すること。一つのコンテナに採集月の異なる試料などが混在しても構わない。コンテナの面積の小さい 2 側面にはラミクロステープ(同等品可)を貼付した上で通し番号を記載すること。試料及びコンテナに記載した通し番号を返送試料の一覧に入力すること。コンテナには新聞紙等の緩衝材をいれ、さらに三段重ねにした上で最上部のコンテナに蓋(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-1 用・黄色)をし、PP バンド(プラスチックバンド)等で結束した上で当所へ送付すること。元々試料が入っていた瓶は洗浄して返送する。返却時の送料・容器は請負業者負担とする。③、④については、適切なコンテナに緩衝材と共にいれて当所へ送付すること。

9. その他

- ① 請負業者は試料受領後、速やかに試料と試料一覧表を照合し、試料の状態等について確認を行い、担当職員へ受領した旨を連絡する。試料と試料一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、取扱いについて担当職員と協議する。なお、引き渡しにかかる送料等は当所負担とする。

- ② 業務に必要な消耗品等は請負業者にて準備すること。
- ③ 成果品の提出の際は必ずファイルのウィルスチェックを行うこと。
- ④ 成果品について当所におけるチェック結果によっては該当の全サンプルの再検を求めることがある。また仕様書に反する成果品が提出された場合や当所でのクロスチェック結果と大きく異なる場合においても全サンプルの再検を求めることがある。
- ⑤ 詳細については担当職員の指示に従うこと。特に作業中に疑義が生じた場合は、必ず担当職員と打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進めること。
- ⑥ 本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- ⑦ 業務で知り得た情報について、第三者への開示をしないこと。

東シナ海におけるカイアシ類出現種リスト

Order	Species	Order	Species
CALANOIDA	Acartia danae	CYCLOPOIDA (Oithonida)	Oithona atlantica
	Acartia negligens		Oithona attenuata
	Acartia omorii		Oithona brevicornis
	Acartia pacifica		Oithona davisae
	Acartia sinjiensis		Oithona decipiens
	Aetideus acutus		Oithona fallax
	Haloptilus longicornis		Oithona fragilis
	Calanus sinicus		Oithona longispina
	Canthocalanus pauper		Oithona nana
	Cosmocalanus darwini		Oithona oculata
	Mesocalanus tenuicornis		Oithona plumifera
	Mesocalanus lighti		Oithona pulla
	Nannocalanus minor		Oithona rigida
	Neocalanus gracilis		Oithona setigera
	Undinula vulgaris		Oithona similis
	Calocalanus pavo		Oithona simplex
	Calocalanus plumulosus		Oithona tenuis
	Calocalanus styliremis		Oithona vivida
	Paracandacia truncata	CYCLOPOIDA (Ergasilida)	Ditrichocorycaeus affinis
	Paracandacia bispinosa		Onychocorycaeus agilis
	Candacia bipinnata		Ditrichocorycaeus andrewsi
	Candacia pachydactyla		Ditrichocorycaeus asiaticus
	Candacia simplex		Onychocorycaeus catus
	Candacia discaudata		Corycaeus clausi
	Centropages calaninus		Corycaeus crassiusculus
	Centropages furcatus		Corycaeus erythraeus
	Centropages gracilis		Agetus flaccus
	Clausocalanus arcuicornis		Urocorycaeus furcifer
	Clausocalanus farrani		Onychocorycaeus giesbrechti
	Clausocalanus furcatus		Agetus limbatus
	Clausocalanus mastigophorus		Urocorycaeus lautus
	Clausocalanus minor		Urocorycaeus longistylis
	Clausocalanus parapergens		Onchocorycaeus pacificus
	Clausocalanus paululus		Corycaeus speciosus
	Clausocalanus pergens		Ditrichocorycaeus subtilis
	Ctenocalanus vanus		Agetus typicus
	Labidocera detruncata		Farranula carinata
	Rhincalanus cornatus		Farranula concinna
	Rhincalanus nasutus		Farranula gibbula
	Pareucalanus sewelli		Farranula rostrata
	Subeucalanus crassus		Lubbockia squillimana
	Subeucalanus pileatus		Oncaea clevei
	Subeucalanus subtenius		Oncaea media
	Euchaeta rimana		Oncaea mediterranea
	Euchaeta concinna		Oncaea ovalis
	Euchaeta indica		Oncaea scottodicarloi
	Euchaeta longicornis		Oncaea tregoubovi
	Euchaeta media		Oncaea venusta
	Euchaeta plana		Oncaea venusta f. venella
	Paraeuchaeta russelli		Oncaea venusta f. typica
	Heterorhabdus papilliger		Oncaea waldemari
	Lucicutia flavicornis		Oncaea zernovi
	Mecynocera clausi		Triconia conifera
	Pleuromamma abdominalis		Triconia dentipes
	Pleuromamma gracilis		Triconia elongata
	Pleuromamma indica		Triconia furcula
	Pleuromamma piseki		Triconia giesbrechti
	Pleuromamma xiphias		Triconia hawaii
	Acrocalanus gibber		Triconia minuta
	Acrocalanus gracilis		Triconia umerus
	Acrocalanus longicornis		Sapphirina darwinii
	Delius nudus		Sapphirina nigromaculata
	Paracalanus aculeatus		Sapphirina opalina
	Parvocalanus crassirostris		Sapphirina ovatalanceolata
	Paracalanus denudatus		Sapphirina scarlata
	Parvocalanus elegans		Copilia quadrata
	Paracalanus nanus		Copilia mirabilis
	Paracalanus orientalis		Hemicyclops japonicus
	Paracalanus gracilis	SIPHONOSTOMATOIDA	Ratania flava
	Calanopia elliptica	MORMONILLOIDA	Mormonilla minor
	Calanopia minor	HARPACTIDOIDA	Clytemnestra rostrata
	Scaphocalanus echinatus		Clytemnestra scutellata
	Scolecithricella longispinosa		Microsetella norvegica
	Scolecithricella vittata		Microsetella rosea
	Scolecithrix bradyi		Macrosetella gracilis
	Scolecithrix danae		Euterpina acutifrons
	Scolecithrix nicobarica		
	Temoropia mayumbaensis		
	Temora discaudata		
	Temora turbinata		

分析結果表・個体数(例)

LNP 0.1

(個体数/試料)

Cruise no.		YK1413	YK1413	YK1413	YK1413	YK1413	YK1413
Station no.		1	2	3	4	5	6
Year		2015	2015	2015	2015	2015	2015
Month		2	2	2	2	2	2
Day		18	18	18	19	19	19
Time		7:35	13:13	20:31	0:25	4:52	9:18
Lat.		29° 44.986 N	29° 45.412 N	29° 15.083 N	29° 15.101 N	29° 14.724 N	28° 44.839 N
Lon.		128° 45.170 E	128° 15.235 E	127° 45.487 E	128° 15.332 E	128° 45.276 E	128° 39.980 E
magnification of subsample		64.0	64.0	64.0	64.0	32.0	64.0
Hydroida			**	**			
Siphonophora							**
Pteropoda		**	**	**	**	**	**
Heteropoda							
Bivalvia		**		**	**		
Polychaeta			**	**	**	**	**
Podon spp.							
Evadne nordmanni							
Evadne tergestina							
Ostracoda				**	**	**	**
Acartia negligens	f						
Acartia negligens	m						
Acartia danae	f						
Acartia danae	m						
Acartia omorii	m						
Acartia	c		**		**	**	
Undeuchaeta plumosa	m						
Aetideidae	m						
Aetideidae	c						
Haloptilus	c						
Calanus sinicus	f						
Calanus sinicus	m						
Calanus sinicus	cV		**				
Calanus sinicus	cIV						
Calanus sinicus	cIII						
Calanus sinicus	cII						
Calanus sinicus	cI		**				
Canthocalanus pauper	f						
Canthocalanus pauper	m		**				
Cosmocalanus darwini	f	**	**		**		
Cosmocalanus darwini	m	**			**		
Mesocalanus tenuicornis	f						
Nannocalanus minor	f						
Neocalanus gracilis	f						
Undinula vulgaris	f						
Undinula vulgaris	m						
Calanidae	c	**		**	**	**	**
Calocalanus pavo	f						
Calocalanus plumosus	f						
Calocalanus	f	**		**			
Calocalanus	c	**	**	**	**	**	**
Candacia bipinnata	m						
Candacia catula	f						
Candacia longimana	m						
Paracandacia bispinosa	f						
Paracandacia bispinosa	m						
Paracandacia truncata	m						
Candaciidae	c						**
Centropages	c						
Ctenocalanus vanus	f			**			**
Ctenocalanus vanus	m						
Ctenocalanus vanus	c		**	**			**
Clausocalanus arcuicornis	f			**			
Clausocalanus arcuicornis	m	**		**			
Clausocalanus farrani	f	**	**		**	**	**
Clausocalanus furcatus	f		**	**			
Clausocalanus furcatus	m						
Clausocalanus mastigophorus	f					**	
Clausocalanus mastigophorus	m						
Clausocalanus minor	f		**				
Clausocalanus minor	m						
Clausocalanus parapergens	f			**	**		
Clausocalanus parapergens	m						
Clausocalanus pergens	f			**		**	**
.....							
Total		**	**	**	**	**	**
Wet weight (g)		**	**	**	**	**	**

[illegible]

動物プランクトン標本の保管方法

- ◎ プランクトン標本(1/2A、1/2B)は標本ラベルと共に 50ml 標準サンプル瓶(UM サンプル瓶、アズワン番号 5-128-01)に入れる。
- ・1本の瓶に収容出来ない場合は複数本に分けて収容する。
 - ・サンプル瓶の蓋にはラベル 3 種を並べて貼付する(※)。
- ◎ サンプル瓶はコンテナ(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に収納。
- ・収納本数:LNP 標本は 58 本/箱
 - ・同一コンテナに採集月の異なる標本が混在しても構わない。
- ◎ コンテナの面積の小さい2側面にラミクロステープ(同等品可)を貼付し、通し番号を記載
※サンプル瓶の蓋に貼付するラベル(同等品を使用する場合は、担当者に事前に確認をすること)
- ① 上:タフスポット(三商 商品コード 96-4024)
 コンテナ内の通し番号【1~58】を記入
 ただし、複数本に分けたサンプルには全て同じ番号を記入
- ② 中:タフタッグ(三商 商品コード 96-0849)
 サンプルの採集記録等を記入
 採集年月日、採集機関、船名(航海番号)、定点番号、ネットの種類(LNP、VMPS 等)、目合(64, 100, 335 μ m 等)、採集層(0-150m 等)、曳網方法(鉛直、斜行)、サンプルの分割率(1/1、1/2、1/4 等)、複数本に分けた場合のサンプル瓶数(1/3 本、2/3 本、3/3 本等)を記載
- ③ 下:タフタッグ(三商 商品コード 96-084)
 コンテナ番号を記入(後日、資源研で記入するため、納品時は空欄にしておくこと)

記載例(1 本の場合)



記載例(2 本以上の場合)



サンプル瓶に入れる標本ラベル例(耐水紙)

・ラベルは当所より送付する(同等の耐水ラベルを使用する場合は事前に担当者に確認すること)

表 ↓

Cruise			Ship		ST 1
YK1802			YOKO-Maru		
Year	Month	Date	LMT		
2018	5	9	09:58		
Gear	Mesh		Layer	Splitter	Vertical Oblique Horizontal
LNP	100		196m	1/1	

Latitude		Longitude	
26°00.038'		126°00.036'	
Flowmeter Rev.	Flowmeter N.	Remarks	
		3本量 30.68m ³	
			

裏 ↑

サイズ: 縦 3cm × 幅 8cm 程度